

事例

はぎ 萩の食べ物はいちばん！朝ごはんメニューコンテスト (第8回食育活動表彰 消費・安全局長賞受賞)

萩市の食育を支える会（山口県）

近年、忙しい現代社会において、パンにジャムを塗っただけのような栄養に偏りのある朝食や、保護者世代の朝食欠食等が問題視されています。「萩市の食育を支える会」では、市民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育んでいくため、地域住民全てで連携を取り合って具体的な食育推進に取り組むことを目的とした活動を実施しています。その中で、食事内容に重点をおいた朝食摂取ができるよう、買物から調理までの一連の朝食づくりを通して、生活の基礎となる望ましい食習慣を育むため、朝ごはんメニューコンテスト等を開催しています。

朝ごはんメニューコンテストについては、年4回の研修を含む会議において、コンテストの内容確認や意見交換、一次審査等を行っています。「萩市の食育を支える会」は、市内の子供や食に関わる23団体で構成されており、その専門的な視点や子育てをする保護者の立場から、コンテストの効果や反省点等を共有できる環境を整えるなど、より一層の事業改善に取り組んでいます。また、コンテストで受賞したレシピについては、地元企業等の協力による総菜コーナーでの商品化や飲食店におけるランチでのメニュー化等を実現させるなど、受賞だけにとどまらず、更なる取組にも力を入れ、受賞した子供たちの自己肯定感の向上に寄与するとともに、周囲の子供たちやそれを取り巻く大人へも良い影響が波及していています。

朝ごはんメニューコンテスト等の活動を通して、子供が家族を想い、親子で取り組む姿が少しずつ増えてきたのを感じています。今後も、萩の子供たちが朝ごはんの大切さを、知識だけでなく体験を通して感じる機会を数多く作り、幼少期からの生活リズムの確立につながる活動の輪を広げていきます。



朝ごはんメニューコンテストの様子



商品化されスーパーの総菜コーナーに並ぶ
最優秀賞レシピ